天頂山の火山活動解説資料（令和元年７月）

札　幌　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・火口や噴気の状況（図１、図２）

29日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、北側の火口列に噴気は認められず、前回の観測（2018年７月）と比べて特段の変化はありませんでした。

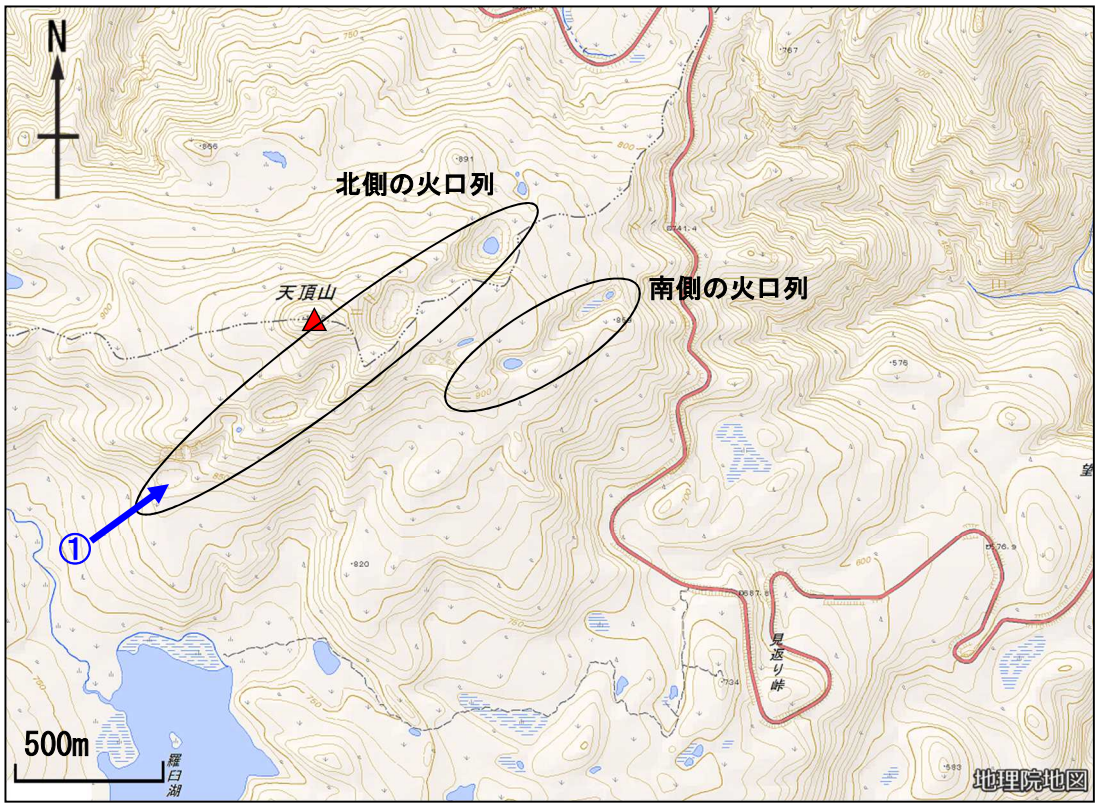

図１　天頂山　周辺図と写真の撮影方向（青矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(https://www.jma-net.go.jp/sapporo/)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号　平 29 情複、第 958 号）。

図２　天頂山　火口列の状況
南西側（図１の①）から撮影。
北側の火口列は、山頂より南西側の部分のみ見えています。

・噴気は認められず、前回の観測（2018 年７月）と比べて特段の変化はありませんでした。